

令和 8 年度 地理総合＋地理探究 (03コア)

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

1. 試験開始の合図があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子は問題 8 ページです。別に、解答用紙 2 枚(そのⅠ・そのⅡ)をセットで配付します。
3. 試験開始の合図があったら、問題のページ数を確認し、解答用紙をミシン目で折ってていねいに切り離し、すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
4. 問題・解答用紙に落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
5. 解答用紙は、黒鉛筆(シャープペンシル可)のほか、黒・青の万年筆またはボールペンを使用してもかまいません。
6. 文字ははっきり、ていねいに書いてください。
7. 解答用紙の点数欄には何も記入しないでください。
8. 使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

I

問1

A国	B国
C国	D国

問2

①	②	③
---	---	---

問3

ア	イ
パイプライン名	

問4

選んだ背景	
J国対パレスチナの具体例	
B国対C国の具体例	

II

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

III

問1

①	②	③
---	---	---

問2

	メリット	デメリット
①	,	,
②	,	,

問3

--

問4

	(アルファベット5文字)
--	--------------

問5

X	Y	Z
---	---	---

問6

--

そのⅠ計

--

小計

--

小計

--

小計

--

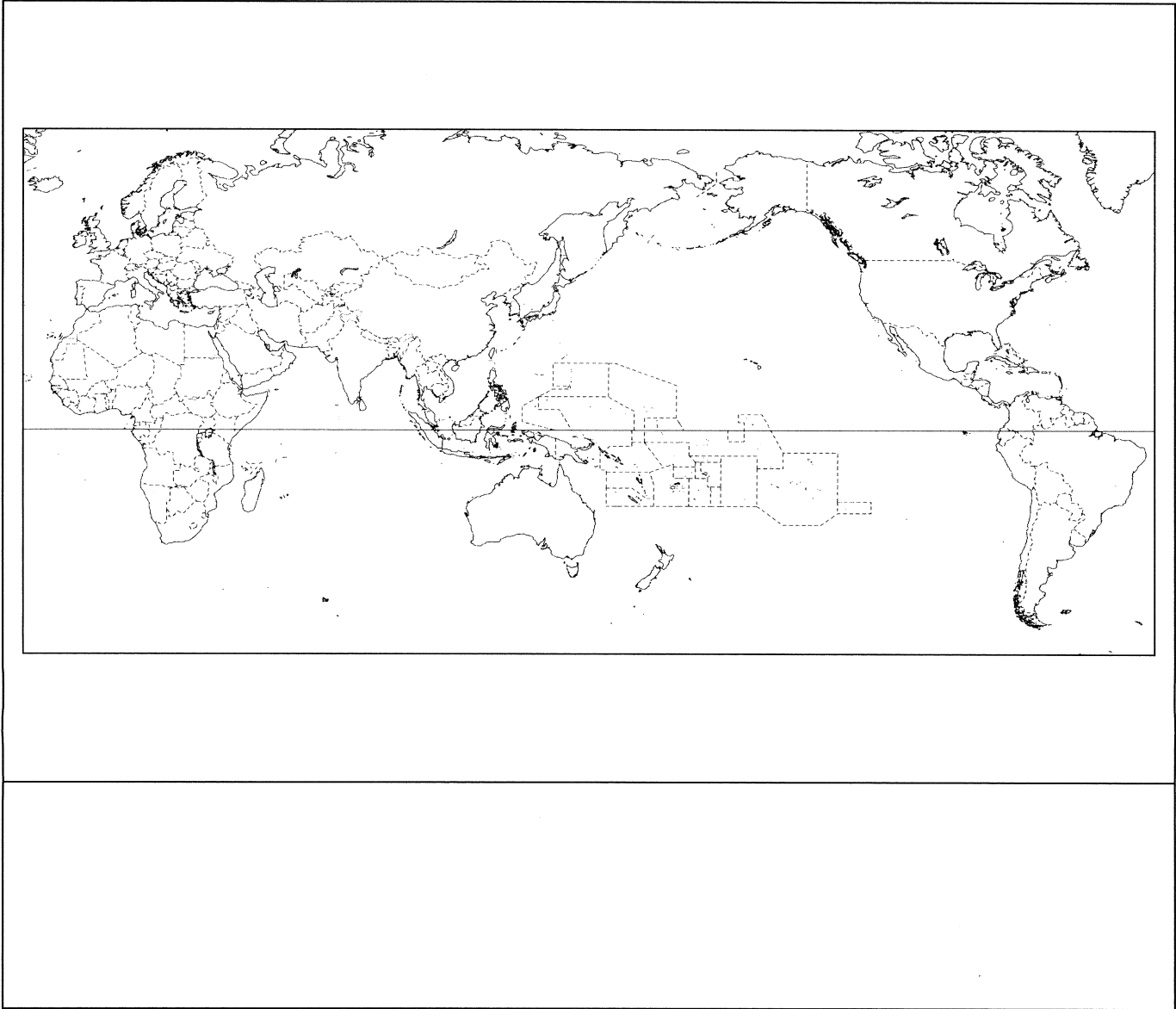
CB03G-a

Ⅳ 問1

(漢字4文字)

そのⅡ計

問2



小計

V 問1

小計

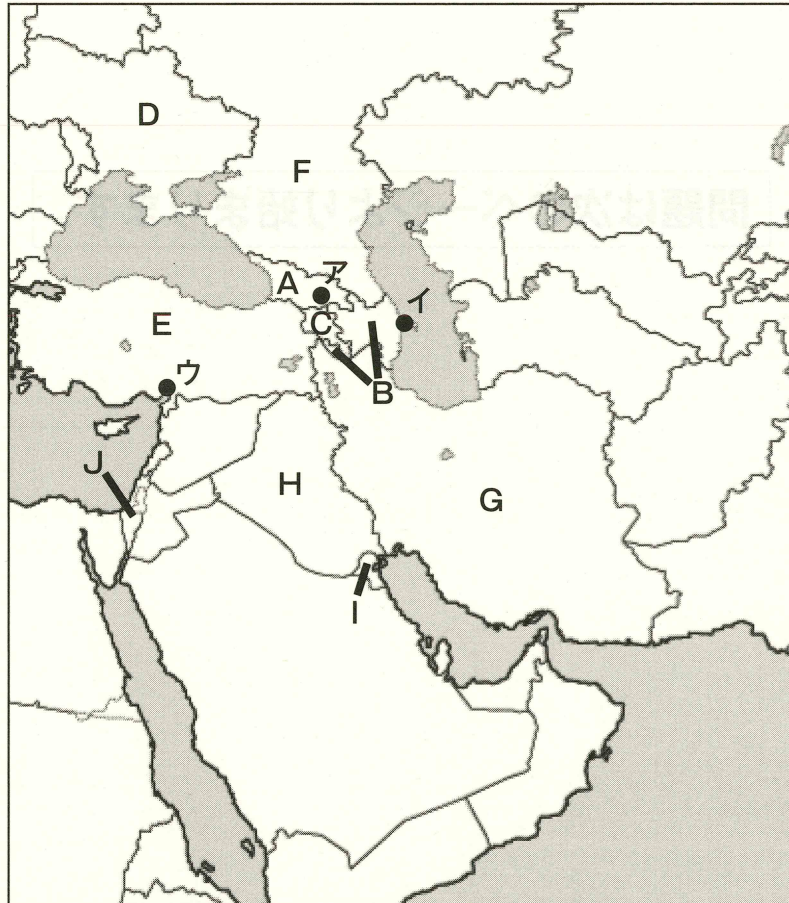
【 問題の解答は次のページより始まります。 】

問題は次のページより始まります。



【 問題の解答は次のページより始まります。 】

I 次の中央アジア及び西アジア周辺の地図を見て、以下の設問に答えなさい。(25点)



問1 地図中のA国，B国，C国，D国の国名を答えなさい。

問2 次の表中の①～③は国家間及び国家内の紛争名を示すものである。日本では一般に何と呼んでいるか答えなさい。年表示はその紛争（戦争/問題）の発生年，期間である。

日本での紛争名	紛争国家名	発生年・期間（西暦年）
①	H国－I国間	1991
②	J国－アラブ諸国， J国国家（内）	1948～
③	G国－H国間	1980～1988

問3 B国の輸出は石油，天然ガスがほとんどを占め，首都（イ）からいくつかのパイプラインでA国，F国，E国を経て主にヨーロッパ方面へ輸出をしている。A国の首都（ア）とB国の首都（イ）の名前を答えなさい。また，B国の首都（イ）からA国の首都（ア）を経由しE国の地中海に面した都市（ウ）を結ぶパイプラインは一般に何と呼ばれるかを答えなさい。

問4 地図中のJ国対パレスチナ，B国対C国も対立している。この2つの紛争について，「領土」・「宗教対立」・「国際的な関与」のいずれかの背景を選んで，それぞれ具体例を挙げて説明しなさい。

Ⅱ 下の表中のA～Gはそれぞれある資源を、1位～3位はその資源の産出量（Aは2022年産，B・C・Dは2021年産，E・Fは2018年産，Gは2020年産）の世界順位を示している。A～Gにあてはまる資源を次のア～キから選び，記号で答えなさい。（14点）

ア 銀鉱 イ 石炭 ウ ダイヤモンド エ 鉄鉱
オ 天然ガス カ 銅鉱 キ ボーキサイト

アメリカ	A	1位				
イラン	A	3位				
インド	B	2位				
インドネシア	B	3位				
オーストラリア	C	1位	D	1位		
カナダ	E	3位				
ギニア	C	3位				
中国	B	1位	C	2位	D	3位
チリ	G	1位				
ブラジル	D	2位				
ペルー	F	2位	G	2位		
ボツワナ	E	2位				
メキシコ	F	1位				
ロシア	A	2位	E	1位		

出典：『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』

Ⅲ 世界の貿易に関するニュース記事を読み、以下の設問に答えなさい。(29点)

通商白書、トランプ関税「不確実性が劇的に高まる」 保護主義を警戒

日本経済新聞 2025年 6 月27日 10:59配信

日本政府は27日、2025年版の通商白書をまとめた。第2次トランプ米政権が1月に発足し、相互関税などを発動したことで「通商政策を巡る不確実性は劇的に高まった」と指摘した。保護主義^Aの台頭や中国のデフレ輸出などで自由貿易体制^Bが揺らぐなか、日本の通商戦略の方向性を初めて盛り込んだ。

トランプ政権は3月に鉄鋼・アルミニウム製品、4月に自動車に25%の追加関税を課した。各国・地域の全ての輸入品に対する相互関税も4月に発動した。相互関税の上乗せ部分の一時停止などの変更や修正が相次ぐのも「不確実性を高めている一因である」とした。

(①) (通称：IMF) の推計によると、25年4月9日時点の米国の実効関税率は25.9%だった。米国で関税を大幅に引き上げた「スムート・ホーリー法」が制定された1930年代を上回る水準に上昇した。

トランプ政権は (②) の解消や製造業の (③) など为目标に掲げる。白書では米国の政策目標について「相互関係や優先順位、関税引き上げとの関係性は必ずしも明らかではない」と指摘した。「政策的な一貫性を巡る曖昧さが、米国の通商政策を巡る不確実性を高める要因となっている」と分析した。

冷戦後のグローバル化が各国・地域内の格差を拡大させ、それに対する不満が^C「保護主義的な貿易政策への支持の土壤になっている」との見方を示した。中国の過剰供給能力によるデフレ輸出なども課題に挙げ、ルールベースの国際経済秩序を強化・再構築する必要性を強調した。

白書では日本の通商戦略の方向性として①保護主義の台頭への対応、②輸出促進、③サプライチェーン (供給網) の強靱 (きょうじん) 化、を挙げた。^D_F^E

出典：https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA20C5J0Q5A620C2000000/

(一部改変)

問1 (①) ～ (③) に該当する語句をそれぞれ下のア～エより選び記号で答えなさい。

- ①…ア 世界貿易機関 イ 世界銀行
 ウ 経済協力開発機構 エ 国際通貨基金
- ②…ア 銃規制強化 イ 化石燃料産業の振興 ウ 貿易赤字 エ 移民規制
- ③…ア 国外移転 イ 国内回帰 ウ 国際的なサプライチェーンの構築
 エ 海外生産促進

問2 下線AとBに関して、①「保護貿易」と②「自由貿易」の一般的なメリットとデメリットについて述べた文章としてふさわしいものを下の あ～く より2つずつ選び、記号で答えなさい。

- あ 安価な外国製品との競争から国内企業を守り育てることができる。
- い 消費者の選択肢が制限されたり、価格が上昇したりする。
- う 競争力の低い国内産業が衰退する。
- え 非効率な産業が温存されることで国内産業の国際競争力が低下する。
- お 消費者に輸入品を低価格で提供できる。
- か 各国が比較優位に基づく産業に特化するため、生産性が向上する。
- き 自給自足体制を強化し、有事の際の供給安定性を高める。
- く 短期的には、特定の分野における失業者が増加するおそれがある。

問3 下線Cに関連して、アメリカ中西部や北東部にかけての伝統的な工業地域は、20世紀中盤以降に国際競争力を失い工場の閉鎖や失業者の増加などが進展した。その衰退した様子から、この地域が何と呼ばれているのか答えなさい。

問4 下線Dに関する対応の1つである、2018年に発効し、現在(2024年時)は日本を含む12か国が参加する自由貿易協定の略称をアルファベット5文字で答えなさい。

問5 下線Eについて、下の表は日本とアメリカの2023年における輸出入上位5か国・地域（金額による輸出・輸入相手国・地域の割合（%））を示したものである。（ X ）～（ Z ）に該当する国名を答えなさい。

日本

	輸出		輸入	
1	アメリカ	20.2%	（ X ）	22.4%
2	（ X ）	17.6%	アメリカ	10.1%
3	韓国	6.5%	（ Y ）	8.6%
4	香港	4.5%	アラブ首長国	4.9%
5	タイ	4.1%	サウジアラビア	4.6%

アメリカ合衆国

	輸出		輸入	
1	（ Z ）	17.5%	メキシコ	15.2%
2	メキシコ	16.0%	（ X ）	14.1%
3	（ X ）	7.3%	（ Z ）	13.6%
4	オランダ	4.1%	ドイツ	5.1%
5	ドイツ	3.8%	日本	4.8%

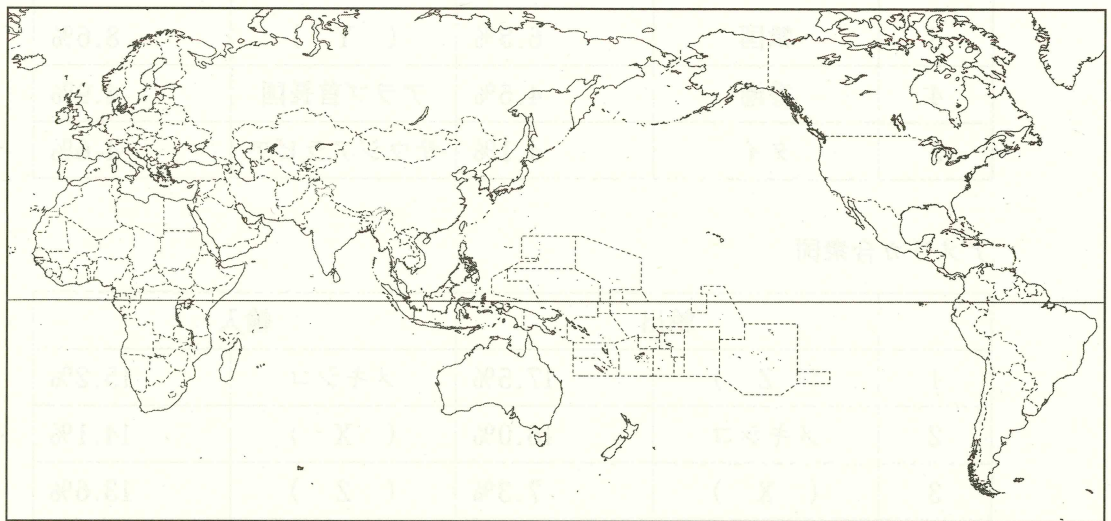
出典：『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』

問6 下線Fについて、サプライチェーンの強靱化に向けて、分散的なサプライチェーンを構築すべき理由を解答用紙の枠内で説明しなさい。

Ⅳ 中国が2013年から推進している巨大経済圏構想について、以下の設問に答えなさい。(12点)

問1 この経済圏構想の呼称を漢字4文字で答えなさい。

問2 この構想について、解答用紙の白地図に矢印を用いて図示し、解答用紙の枠内で簡潔に論じなさい。



V 東南アジアに関する以下の設問にそれぞれ解答用紙の枠内で答えなさい。(20点)

問1 東南アジアの伝統的な住居は、高床式の住居が多い。その理由を説明しなさい。

問2 東南アジアの汽水域に生えるマングローブ林は、近年、大きく減少している。その主な要因を説明しなさい。

問3 ASEAN諸国では、域内の貿易や投資の自由化が進み、自動車産業の国際分業も大きく進展してきた。ASEAN諸国における自動車産業の国際分業の特徴について説明しなさい。

問4 インドネシアでは、首都をジャワ島のジャカルタからカリマンタン島の東カリマンタン州に移転し、新首都をヌサンタラとする計画が進められている。首都移転の主な理由を説明しなさい。